

「奈良市第4次総合計画後期基本計画(案)」に対する意見募集の結果

奈良市では、平成27年4月1日から平成27年4月21日までの間「奈良市第4次総合計画後期基本計画(案)」を公表し、案に対する意見を募集しました。

意見募集の結果について、意見の概要とこれらに対する市の考え方を示します。

ご意見をいただきありがとうございました。

1 意見の提出状況

(1) 意見の提出者数 個人2人(2通)

(提出方法別内訳)

持参 2人(2通)

(提出者属性別内訳)

市内に住所を有する人 2人

(2) 意見の件数 6件

(意見の対象別内訳)

・各論全体に関する意見 1件

・第3章「保健福祉」中、施策3-02「子育て」に関する意見 5件

2 意見の概要及び市の考え方

いただいた意見の概要及び意見に対する市の考え方は次のとおりです。

意見の概要	市の考え方
<p>奈良市には子どもを遊ばせられる施設がとても少ないと思います。</p> <p>奈良市には、0歳から概ね3歳の乳幼児が自由に室内で遊べる「つどいの広場」があり、親子がいつでも気軽に立ち寄り、自由に遊んで過ごせるとも良い施設だと思います。しかし、3歳以上になった子どものいる家庭は利用できません。</p> <p>近所の公園などに行きませんが、他に遊びに来ている子ども達もあまり見かけず、交流することができません。また、公園は整備が行き届いていなかったり、遊具が幼児向けのサイズでなく危険で遊ばせにくい所も多いです。また、ボールの使用が禁止されるなど、遊びが限定されます。</p> <p>もっと市民の立場に立ち、市民の日常を想像してほしいと思います。子どもは1人だけではありません。きょうだいで一緒に行動します。年齢が区切られては、利用が制限されてしまいます。</p> <p>天気によらず安心して家族みんなで過ごせる場所が奈良市にも必要です。</p>	<p>本市には概ね0～3歳の児童とその保護者に利用していただける施設として「つどいの広場」の他に、「地域子育て支援センター」、「子育てスポットすくすく広場」、「児童館の子育て広場」、「子育てスポット」、「認定こども園の子育て親子が集う場」があります。これらの施設は、子育て親子が集まって遊べるスペースがあり、子育てに関する相談や地域の子育て関連情報を提供してもらえる施設として広くご活用いただいているものです。</p> <p>一方、概ね小学生以上のお子さんが屋外を中心に遊べる場といたしまして、「市青少年野外活動センター（阪原町）」のほか奈良県の施設として「県立野外活動センター（都祁吐山町）」などがあり、3歳からご利用いただけるキャンプ場として「黒髪山キャンプフィールド（奈良阪町）」があります。</p> <p>また、民間の児童館である「平城児童センター（歌姫町）」は、乳幼児から小学生までとその保護者を対象とした施設で、屋外での活動を積極的に取り入れた体験活動や親子交流等を行っており、隣接する「平城野外活動研修センター」は、子ども会・青少年団体等の方が利用できるキャンプ場となっています。</p> <p>ご意見のとおり、天候によらず安心して家族みんなで過ごすことは、子どもたちの成長にとって大切であると考えています。中央（東寺林町）、西部（鶴舞西町）及び北部（右京一丁目）の3つの図書館には、各々児童室または児童書コーナーを設置し、家族みんなで年齢に応じた絵本等を楽しめる場所を設けています。</p> <p>さらに、はぐくみセンター（三条本町）では、土日等になりますが、9階キッズ学びのフロアにおいて親子で参加できる講座やプラネタリウム、絵本等の朗読会なども開催しています。個別のコーナーや行事の開催情報は市のホームページ【「奈良市 今月のキッズ学びのフロア」で検索】に掲載していますのでご確認ください。</p> <p>なお、これらの情報が、さらに市民の皆様に届くように今後も広報に努めてまいります。</p> <p>本計画の施策 3-02-01「子育て支援の推進」における施策の展開方向②で「子育て中の親子の居場所づくり」と掲げておりますが、ご意見をいただいているとおり、きょうだいを一緒に遊ばせることのできる施設が十分でない現状もありますので、ご意見を参考に子どもが安心して過ごすことができ、自然とのふれあいや遊び等様々な体験や子ども同士の交流もできる居場所や遊び場づくりに努めていきます。</p> <p>また、公園については、年間2回の草刈りと、随時、園内の土の補充や砂場の砂の補充等を行っているところですが、公園数が多く一部管理</p>

	<p>が行き届いていない現状があります。</p> <p>しかし、公園はレクリエーションなどのため様々な方が利用される場所ですので、幼児も含む子どもたちが安心して安全に遊べるように遊具の安全点検や修繕を行うとともに老朽化した遊具については改修を行い、公園の魅力向上に努めていきます。</p> <p>なお、本計画の施策 5-06-01「公園・緑地の整備」展開方向②において、「老朽化した遊具などの整備を図り、誰もが安心して利用できる公園づくりに努めます。」とし、今後とも市民の皆様が安心して利用できる公園となるよう適切な管理を推進していきます。</p>
<p>この計画では、親の就労のための保育園整備、待機児童対策、バンビホームなどにばかり目が向けられている気がします。しかし、それだけでは全ての子育て家庭のニーズを網羅できているとはいえません。奈良市は専業主婦率も高く、多くの公立幼稚園ははまだ2年保育です。そして、働く親であっても、保育園やバンビホームに任せておけばいいというわけではありません。幼稚園に入園するまでの期間の過ごし方（0歳から4歳）、また入園してからも幼稚園が終わった降園後、小学生の放課後、休日など「親子で過ごす時間のありかた」についても目を向けるべきです。</p> <p>核家族が多いこの時代に、家庭以外の居場所作りは孤立した子育てを解決する糸口になると思います。</p>	<p>核家族化の進行や地域社会の変化に伴い、身近に相談できる相手がいないなど、子育てへの負担感や孤立感が増大していると言われていています。そのような中で、家庭以外の居場所づくりは大変重要なことと考えています。</p> <p>本市では、未就園児とその保護者が集まり、子育てに関する学習や情報交換、季節の行事等の活動を行う子育てサークルの登録を行い、市民の方々に紹介するほか、一定の条件を満たす子育てサークルに、活動に必要な経費の一部の補助等を行っています。詳しくは市のホームページ【「奈良市 子育てサークル」で検索】をご確認ください。</p> <p>また、乳幼児と保護者が気軽に集える「子育て広場」、地域に開かれた「こども園」として、未就園児の親子登園や子育て相談の実施、地域に開かれた幼稚園・保育所づくりの推進のため、地域の方々とふれあう機会が少なくなっている幼児や、子育てに孤立感・不安感を抱えている保護者のために、園庭・園舎を開放し、在園児との交流や未就園児の親子登園などを実施しております。詳しくはこども園等へ直接お問い合わせください。</p> <p>子どもたちの降園後や放課後、休日等の「親子で過ごす時間のありかた」に関する視点も考慮に入れ、市役所の各部署で情報を共有し、子どもや子育て家庭への施策に取り組んでいきます。</p>
<p>以前は市内にもドリームランドやあやめ池遊園地がありましたがいずれも閉園してしまいました。子どもを連れて出かけ一日親子で過ごせる施設が本当に少なく</p>	<p>ご意見のとおり、一日親子で過ごせる施設として親しまれてきたあやめ池遊園地、奈良ドリームランドがそれぞれ平成16年、平成18年に閉園されたことにより、市内の大型遊園地が姿を消しております。</p> <p>本市には、水族館、動物園、科学館等はありませんが、土日・祝日や夏季休業中に、はぐくみセンターで、親子で参加できる「科学実験教室」や「ものづくり教室」を開催しております。特に、キッズドームシアタ</p>

<p>て残念です。</p> <p>奈良市にはそういった施設が何もありません。水族館も、動物園も、科学館も、大型児童館も、遊具の整った大きな公園も。</p> <p>平城宮跡や奈良公園に幼児向けの遊具広場（アスレチック、水遊びのできる小川、周囲を気にせずボールを使い野球やサッカーができる広場の整備など）があれば市内の子どもたちの憩いの場になりますし、県内、県外からの遠足や観光での利用も増え地域活性になると思います。</p> <p>人口減少が見られる奈良市にも、子育て中の家庭が移り住みたくするような環境が必要です。</p>	<p>一では、プラネタリウムを使用して、宇宙の神秘を体験することができます。</p> <p>一方、平城宮跡や奈良公園は国または奈良県が所管する施設であり、また各々特別史跡、名勝にも指定されていますので遊具等の整備は現実的に難しいです。しかし、全国的にも稀有な世界遺産の関連施設でもありますので、いわゆる古都奈良ならではの施設を通して郷土を大切に思う気持ちや文化財を尊重する態度などを養うとともに、可能な範囲でボール遊びをしたり家族で憩う場として活用していただくことができます。また、季節的な開催にはなりますが、休日等にはイベントなどを開催していますので、家族で楽しむことができます。これらの情報はしみんだより、ホームページ、ポスター等で随時お知らせします。</p> <p>ご意見のように、観光交流や本市への移住の促進にもつながることから、子どもが安心安全に過ごすことができ、自然とのふれあいや遊びなど様々な体験や子ども同士の交流もできる居場所や遊び場づくりに努めていきます。</p>
<p>奈良市は父親の育児参加のために「イクメン手帳」の発行をされましたが、文章を読むだけでは分からない「親子で一緒に遊ぶ」という実際の経験の積み重ねも大切ではないでしょうか。また、他の家庭の様子を見たり、家族同士交流したりする事で、子育てについての意欲も高まるのではと思います。</p> <p>旧奈良警察署跡地に観光施設を作るのではなく、市民、子どものための施設があればどれだけいいかと思えます。いきなり大規模な児童遊園の建設は難しいかもしれませんが、まずは市内にある空きテナントを大型児童</p>	<p>現在、市内に公立児童館4か所を設置しており、18歳までの児童を対象として、放課後活動や遊び等様々な体験・経験を通して児童の健全育成と健康増進を図るとともに、地域支援活動を行っています。</p> <p>加えて、児童館で地域子育て支援拠点として、乳児から就学前の児童と保護者を対象とした子育て広場を開催し、子育て親子に遊びや交流の場を提供するとともに、子育て相談、講習会等を実施しています。児童館の体育室等を利用し、就学前の子どもたちと親子が一緒に思い切り走り回ることもできます。</p> <p>また、奈良市内で活動中の子育てサークルや子育て中の方々に、児童館の施設を活動場所として利用していただくこともできます。</p> <p>ご意見をいただいたような大型児童館の建設等は本市の財政状況からは難しい状況ですが、今後も、児童館の事業等を広く広報することにより、児童館の利活用を促進します。</p> <p>旧奈良警察署跡地につきましては、奈良県が所管する土地ですので、市ではその活用は難しいです。</p> <p>なお、民間の児童館である「平城児童センター」は、乳幼児から小学生までとその保護者を対象とし、屋外での活動を積極的に取り入れた体験活動や親子交流等を行っています。また、隣接している平城野外活動研修センターは、子ども会・青少年団体等の方にキャンプ場として利用</p>

<p>館として活用はできないのでしょうか。</p> <p>はぐくみセンターにはプラネタリウムや工作室があるのだから、3歳以上の子どもが利用できる遊戯室を設置してほしいです。</p> <p>家族みんなで1日中過ごせる児童館の設立を検討していただけないでしょうか。</p>	<p>していただくことができます。</p> <p>今後は、子育て家庭に利用していただける事業等を、より広く周知できるように、広報紙及びホームページ等をさらに活用していきたいと考えています。</p> <p>はぐくみセンターの9階は「キッズ学びのフロア」として、平日は市内の学校・園を対象とした学習の場として活用しています。土日・祝日には、親子で体験できるものづくり工作や科学実験、季節に合わせたプラネタリウムの投影を行っています。子どもたちが自由に遊べる遊具等は設置していませんが、9階の展望エリアでは、絵本を読むスペースや折り紙などで遊ぶことができるスペースを提供しています。</p> <p>広報としては、親子で体験できる工作や実験、プラネタリウムの投影スケジュールなどを「しみんだより」、教育センターのツイッター、奈良市ホームページ、学校・園などの公共施設へのチラシの配布などを通してお知らせしていますのでご覧ください。また、子どもたちが気軽に楽しむことができる施設として奈良市民以外の方も利用することができます。</p>
<p>「重点戦略1：子どもの夢・未来戦略」と掲げるならば、子育て家庭の意見を取り入れた行動を見せて下さい。どうか、今の幼い子どもたちが利用できるよう即戦力のある計画を立ててください。</p> <p>「奈良市子どもにやさしいまちづくり条例」が制定されたこの機会に是非前向きに検討をお願いしたいです。</p> <p>奈良市がよりよく発展し、子どもと子育て家庭にやさしい市になりますようお願いしております。</p>	<p>本計画の重点戦略「子どもの夢・未来戦略」では、安心して子育てができる環境づくりを進めることとしています。</p> <p>本市では、未来をひらく子どもたちが今を幸せに生きることができ、将来に夢と希望を持って成長していけるような子どもにやさしいまちづくりを進めるため、「奈良市子どもにやさしいまちづくり条例」を制定し、本年4月から施行しています。本計画と各分野の計画とも連携し、当条例に基づき様々な施策を展開していきます。</p> <p>また、子育て家庭を始め市民の方々のご意見をお伺いし、より子どもと子育てにやさしいまちになっていくよう、現在実施している事業の検証も行いながら、取り組みを進めていきたいと考えています。</p>
<p>目標の達成度を評価する指標が、前期基本計画のまま前例踏襲となっているものが多数あるように感じます。また、それぞれの施策の目標と指標の関係が合っていないものがあるように思います。これに向かって取り組んでいくというような指標を</p>	<p>後期基本計画策定に当たっては、前期基本計画からの継続性を考慮して、前期基本計画と同様の指標を掲げているものもあります。</p> <p>計画の進行管理に当たっては、指標の設定による進捗の確認を行い、その結果を実施計画の見直し等につなげ、効果的な施策の推進を図ります。</p> <p>また、今後、各施策の実施に当たり、取組の効果を適切に把握するため、実現すべき成果を表す指標（アウトカム指標）の積極的な導入を進めていきます。</p>

<p>掲げるべきではないでしょうか。</p>	<p>なお、ご意見を受けて、施策の目標の達成度を適切に表しているかという視点で指標の見直しを行いました。</p> <p>見直しの結果、以下の6点について、指標を変更します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策番号「1-03-01 人権と平和の尊重」の指標「人権擁護啓発作品展応募者数」について、施策の目標との関係がわかりにくいため、削除します。 ・施策番号「2-03-02 図書館の充実」について、図書館利用者の拡大を目指すための指標として「図書館入館者数」を追加します。(2020年度目標値 延べ570,000人) ・施策番号「3-01-02 社会保障」の指標「特定健康診査の広報・啓発協力団体数」について、施策の目標との関係がわかりにくいため、削除します。 ・施策番号「4-01-02 消防・救急救助体制の充実」における施策の展開方向②に記載している、女性防災クラブとの協働による防火対策の推進の成果を表す指標として、「女性防災クラブ結成数(累計)」を追加します。(2020年度目標値 33クラブ) ・施策番号「4-03-01 環境美化の推進」について、「アダプトプログラム推進事業 活動団体数」としている指標を、活動の実態をより適切に表す指標として「アダプトプログラム推進事業 団体活動回数」に変更します。(2020年度目標値 2,100回) ・施策番号「6-05-01 勤労者福祉の向上・就労機会の確保」における指標「(公社)奈良市シルバー人材センターの会員数」について、高齢者の就業機会を確保する取組の成果を表す指標として「(公社)奈良市シルバー人材センター会員の就業率」に変更します。(2020年度目標値 70.0%)
------------------------	--